

本訓練の特徴

1 災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）と救出、救助、救護訓練（実動訓練）の日程を分けて実施（初）

より実践に近い内容の濃い訓練とするため、災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）と救出、救助、救護訓練（実動訓練）の日程を分けて実施する。

・災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）

⇒10/18（水）の午後1時30分から午後5時頃まで

・救出、救助、救護訓練（実動訓練）

⇒10/21（土）午前9時～午後2時頃まで

2 災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）への防災関係機関の参加（初）

災害対策本部は市長を本部長、副市長を副本部長とし、部局長級メンバーで構成されるが、熊本地震や九州北部豪雨などにおいては、多数の防災関係機関が、市町村の災害対策本部に詰めて災害対応に当たった。

今回の災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）では、実災害に即した訓練とするため、本市災害対策本部に総合事務局、沖縄県、沖縄気象台、NTT西日本、沖縄電力、自衛隊及び警察本部など、多数の防災関係機関が参加した訓練を実施する。

本訓練の特徴

3 議場に災害対策本部を設置（初）

災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）における、災害対策本部の設置（運営）場所については、これまでの本庁舎5階の庁議室から、本庁舎4階の本市議会議事堂の議場へ移設して実施する。

4 有識者による訓練評価の実施（初）

福岡市から危機管理専門官を招聘し、災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）の評価を実施していただき、その内容を検証し、本市の更なる防災力の強化・向上に繋げる。

5 報道機関参加型模擬記者会見の実施（初）

災害対策本部設置運営訓練（図上訓練）における、第2回災害対策本部会議終了後に、那覇市政記者クラブ加盟社の記者に参加いただき、記者会見室（仮称）において、今回の大規模災害を受けての市長声明を発表する。その後、本市の災害対応状況等に関する質疑応答に部長等が対応する。

6 体験型防災ブースの設置（初）

10月21日（土）の救出、救助、救護訓練（実動訓練）日に、消防、自衛隊、警察などが実施する通常の災害対応訓練とは別に、市民の防災意識を向上させるための体験型防災ブースを設ける。

例) 起震車による地震体験、バーチャル防災VR体験、濃煙体験、風速体験、お天気実験教室、車両展示等